※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	903　「高校化学基礎　visual」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この宇宙に存在する物質は全て、原子という目に見えないサイズの粒が集まって構成されており、発火を始めとする物質の変化を伴う自然現象は、原子の挙動によって説明することができます。目に見えないサイズであるからこそ、想像力を豊かにしながら現実に起こる変化に注目し、常に「なぜこのような変化が起きるのか？」と自ら問題を提議し、答えを模索するように学んでほしいと思います

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
物質の構成、化学結合、物質量、酸・塩基、酸化還元など、化学基礎の基本的な概念や法則を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
日常生活や社会に関わる化学の課題について、既習事項を活用して考え、判断することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
化学的な現象に関心をもち、身近な事象と関連付けながら主体的に学ぶことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	原子や化学反応について、基本的な概念や原理・原則を身に付けている。物質の変化に関する観察・実験などを行い、実験の基本操作を習得するとともに、その過程で見られる変化や結果を的確に記録し、その結果について科学的に考察する技能を身に付けている。	物質の変化を伴う現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して事象を科学的に考察し、導き出した答えを適切に表現で来ている。	化学的な現象や物質と日常生活との関連に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の構成	物質の探求 物質の構成粒子	a: 全ての物質が原子からできており、その構造を理解し、知識を身に付けている。物質の性質に関する探究活動を行い、化学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理している。 b: 原子の特徴と周期性について考察し、導き出した考えを表現している。 c: 物質の性質やその根本となる原子に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容(メモ書き等) ・提出物
2学期	物質と化学結合	イオン結合 共有結合と分子間結合 金属結合 化学結合と物質	a: 結合の違いと物質の性質の違いを理解し、知識を身に付けている。物質の結合に関する探究活動を行い、化学的に探究する方法を習得するとともに、それらの関係性を整理している。 b: 陽イオン・陰イオンの形成の違いについて考察し、導き出した考えを表現している。 c: 原子同士の結合の違いに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容(メモ書き等) ・提出物
3学期	物質の変化	物質量と化学反応式 酸と塩基	a: 酸と塩基の性質を理解し、知識を身に付けている。酸化と還元による分子の変化を理解している。酸と塩基に関する探究活動を行い、化学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理している。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容(メモ書き等) ・提出物

※令和４年度以降入学生用

		酸化還元反応	b: 身近な酸や塩基の物質を比較し、酸・塩基がそれぞれ共通してもつ性質を考察し、導き出した考えを表現している。 c: 日常の酸性・塩基性の物質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。		表現できるか。	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度